

ご挨拶

富岡 倍雄

このたび、昭和六二年三月をもって、茂呂森一先生が定年でご退職のはこびとなりました。昭和四三年に前任校である玉川大学から本学へご赴任になって以来一八年、先生がご定年まで職務を全うされたことを心からお慶び申しあげると共に、この間の本学に対する多大のご貢献に深甚なる謝意を表するものであります。

先生は、東京帝国大学の経済学部をご卒業の直後、短期間、実業におつきになられた以外、一貫して教壇にたつて今日にいたっておられます。そしてこの間、先生は経験科学としての経営学の体系化を目指して研鑽を積み、その成果を『経営経済学』、『経営における人間の研究』、『経営学原理』、『経営管理の原理』等をはじめとする多数の著書論文として世に問うてこられました。またそのたゆまぬご研究の姿勢と内実とは講義や演習を通じて不断に学生に伝達され、先生のお講義には毎年多数の学生が参集するのを常

とし、教育面でも大きな足跡を本学にのこされたのであります。

今回、制度とはいえ、このような先生に本学を去られることは痛恨の極みではありますが、さいわい、いましばらくは非常勤講師としてご出講をお願いしうることになりましたので、それを以てわずかに喜びと致すほかはありません。

これまで先生に賜った公私にわたるご鴻恩に対して、経済学部教員のひとりひとりになりかわって、ここに厚くお礼申しあげると共に、あわせて今後のいっそうのご自愛の程をお願いして、ご挨拶とさせていただきます。